

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	IPPOプログラミング兵庫校			
○保護者評価実施期間	2026年1月27日		～	2026年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	2026/1/27		～	2026/2/27
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ITカリキュラムと宿題の取り組む順番や、ITカリキュラムが複数ある為、日々の活動から自己選択、自己決定のを行い取り組む事ができている。	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時間や勉強部屋やパソコンの空き状況に応じて、ITカリキュラムや宿題を取り組む順番など本人の意見を尊重し声掛けを行い、周りの状況や時間を意識した行動が出来る様に取り組んでいます。 ・ITカリキュラムは複数ある為、本人や保護者様の意見を尊重した上で、タイピング検定やscratch検定などを実施し、自身の能力の確認するとともに、自信に繋がる機会を作っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ITカリキュラムのカリキュラム内容を増やし、選択できる幅を増やしていく。
2	保護者や子ども達の意見を積極的に取り入れ、支援内容の改善に役立っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な面談や報告を通じて、保護者とのコミュニケーションを大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の興味・希望を尊重した支援計画の作成(アンケートやヒアリングの実施) ・活動の選択肢を増やし、子供が自ら選べる機会の提供。 ・子ども自身が成長を実感できるプログラムの工夫。
3	児童の成長に合わせたプログラムの実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の成長や特性に合わせ、本人が意欲的に取り組めるよう、その好きなモノやキャラクターを使用したプログラム作成。 ・5領域に基づいた療育内容を考えている。 	職員ミーティング等の機会を通じ、行った活動を振り返りさらなる内容の充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)との連携の機会が少ない。	事業所内での事故や怪我がなく協力医療機関に受診する機会がなかった為、協力医療機関や地域の病院等での連携を図れていなかった。	病院等へ訪問し、情報共有の機会を増やしていく必要がある。
2	「ペアレントトレーニング」等、家族が参加できる研修の場の提供およびコミュニティの形成が必要。	保護者からの個別相談に対するアドバイスや助言はできているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みはできていない。	今後は年間計画に研修等を組み込む等、子どもに対する家族の対応力向上につなげていく。
3	避難訓練等実施している取り組みを伝えきれていない。	定期的に訓練を実施しているが、周知されていない。	子どもの安全のための措置を再度簡潔にまとめ周知して保護者との情報共有に繋げる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	IPPOプログラミング兵庫校
------	----------------

公表日 2026年3月30日

利用児童数 49名

回収数 23名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	22	0	0	1		引き続き、十分に活動スペースを確保したうえで、活動に合わせて活動場所や机の配置を変更して支援しております。
	2	18	1	0	4	・少ない日もあれば多い日もある。 ・利用者数と配置数は公表されていますか？ ・見る機会がないので分からない。	指定基準を満たしている職員配置になっていますが、今後もより良い支援のために職員の専門性を高められるように努力いたします。
	3	20	0	0	3	・適切に作られているとおもう。 ・見る機会がないので分からない。	設備の点検と改修を定期的実施し、バリアフリー化の推進や利用者の意見を取り入れた構造化を検討しています。
	4	20	0	0	3	・適切に作られていると思う。 ・見る機会がないので分からない。	定期的にアルコール除菌を行っており、お子さまの手に触れるものは特に気を使っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	23	0	0	0	パソコン等での専門性の支援があると思う。	お子さまの発達段階に応じた支援技術を学ぶ研修や、専門家のアドバイスを受けながら具体的な支援をさせていただきます。
	6	23	0	0	0		定期的にカンファレンスを開催。支援内容の見直しや利用者の意見を収集し、整合性を確保する仕組みを強化しています。
	7	23	0	0	0	・十分な説明がありました。	定期的なカンファレンスを開催。支援内容の見直しや利用者の意見を収集し、整合性を確保する仕組みを強化しています。
	8	21	1	0	1	・十分な説明がありました。	引き続き、職員間で情報共有を徹底したうえで個別支援計画書を作成し、保護者様への説明についても書面を用いて分かりやすく説明を行う様努めていきます。
	9	23	0	0	0		定期的なカンファレンスを開催し、計画と支援内容の見直しを行っています。
	10	20	1	0	2	・イベント等があるので固定化はされていないと思う。 ・休日以外は固定化されている様には思うが不満はない。	利用者の意見を取り入れ、柔軟性に考慮した活動プログラムを検討しており、興味や関心を引き出す新しい活動を導入しています。
	11	7	2	6	8		地域の行事や公共施設の利用などを通して、地域の子どもたちと関わる機会を今後検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	23	0	0	0		利用開始前には丁寧な説明が必要と考えている為、細部までの説明や相談の機会を設けています。
	13	21	1	1	0		こどもの特性を理解した支援を実施する為に、保護者へ個別説明の機会を増やしています。
	14	9	4	4	6		家族も参加しやすい研修会や情報交換の場を定期的開催し、支援の充実を図る場の提供を検討しています。
	15	22	1	0	0	・自力通所なのでスタッフの方と話す機会が少ない	日々の連絡や個別面談を通じて情報共有を行っています。
	16	20	2	1	0	・支援を通して様々な生活（将来の生活）を見据えてのアドバイスを頂いています。 ・自力通所なのでスタッフの方と話す機会が少ない	保護者との意見交換を充実させ、発達面や受験・進学等に関する相談の機会を設け協力機関との連携を強化します。
	17	23	0	0	0	・支援を通して様々な生活（将来の生活）を見据えてのアドバイスを頂いています。	共感的な支援とは、相手(お子さまや保護者様)の立場に立つて感情や考えを理解し、寄り添い型の支援を行うことだと理解しております。職員一同、共感的な支援に取り組んで参ります。
	18	7	2	6	8	・無くても良い。どちらでも良いので。	保護者会や情報交換の機会を提供し、兄妹向けのイベントを計画し、家族全体で支援を受けられる環境を整えます。
	19	20	1	0	2		ご相談等がございましたら迅速に対応させていただきます。
	20	22	0	0	1		様々なニーズに考慮し、連絡方法の多様化の強化を行っています。柔軟な情報伝達手段を導入し、スムーズな対応を心掛けています。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1	0	1		今後もHPやSNSを活用し、活動内容等を発信できるように工夫します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	5		社内研修を行い、個人情報管理の厳格化を徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	0	8		各マニュアルに基づき訓練を実施しています。保護者様にも周知させていただくよう心掛けていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	9		非常災害の発生を想定した、定期的な訓練や備蓄の確保・見直しを行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	6		安全計画の内容を保護者へ説明し、面談や資料配布等を通じて周知しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	5		体調不良等が発生した際は、速やかにバイタルチェックを行った後に、電話で保護者に連絡をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0	・そういう事象がないためわかりません。 ・小学生のころから通わせてもらっている場所で知っている仲間も多く先生にも話せる場所でもあります。	引き続き安心感を持って通所出来る様、日々の送迎や通所の際への安全確認や、施設の環境設備など行い、安心して通所できる様努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	0	0	0	・友人と一緒に通え共に学び合い良い関係性を保っているため安心です。	個々の関心や興味に合わせたプログラムの導入や自由時間を充実させた提案等の工夫を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0	・いつも気にかけて下さりありがとうございます。通うことで本人にとっても息抜きできる場所でありありがたいです。	支援の質の向上を図る年間研修計画をはじめ、個別支援を強化するための新たな支援プログラム導入を検討しております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		IPPOプログラミング兵庫校				公表日	2026年 3月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	勉強部屋、ITカリキュラム、余暇時間と活動によってスペースを分けています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	0	活動の種類や時間に応じて、職員の配置を調整し、子ども一人ひとりに目が行き届くよう工夫している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	活動エリアを分かりやすく区分し、視覚支援として、スケジュールやルールを掲示し、子どもが見て理解しやすい形にしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日の清掃とエアコンなども決められた期間内で清掃しています。活動エリアを分かりやすく区分し活動に合わせた空間を作っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	相談室や勉強部屋ある為、必要に応じて個別の対応をする事ができています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	日々のミーティングと目標を定め会議や研修等行っております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者様からの評価表やご意見を元にカリキュラムの改善やイベントの実施など行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	月一の管理者面談を実施している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	第三者委員会の設置はないが、法人内で情報共有を随時行い、偏った情報で運営されないよう工夫をしている。	今後は、第三者委員会の設置を検討し、今以上に風通しのよい事業所運営に努める。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	月一回以上の社内研修会を実施。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	児童の意見を取り入れながら実施している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	アセスメントや面談を通じての要望や日々の活動での課題に対しミーティングを行い、個別支援計画書の作成に繋げています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	日々のミーティングやサービス担当者会議で職員全員の意見の聞き入れ作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	サービス担当者会議で職員全員の意見を聞き入れ、個別支援計画書作成後の確認後、支援計画書に沿った支援を実施しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	終業後に活動の記録を作成し、カンファレンスを行っている。	定期的に確認は行っているが、その頻度は十分でないと感じるため、さらに計画的に会議を行い情報共有の場を確保する。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	保護者や児童にヒヤリングを行ない、個別に必要な支援内容も踏まえながら具体的な支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	児童の成長や特性に合わせ、本人が意欲的に取り組めるよう、その時好きなモノやキャラクターを使用したプログラム作成		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	活動プログラムが固定化されない様、児童の成長に合わせたプログラムがある。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	児童により専門職が個別に療育を行なう機会がある。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	前日や当日の活動内容や役割等の確認し、支援内容の変更等についても話し合い、チームで連携して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	毎日終礼を行い、当日の支援内容の振り返りや学校や保護者の方からの情報共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日々の活動の記録をとり、それをもとにミーティングや個別支援計画書に反映しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	送迎やお迎えの際に、最近の様子などお伺いし、定期的なモニタリングをもとに個別支援計画書の見直しをおこなっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	0	宿題のサポートやITカリキュラムでの個人やグループでのプレゼンテーション資料作成や発表やスケジュール作成以外にも、定期的なイベントでのお買い物体験など様々なイベントを行っています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	ITカリキュラムの内容が複数ある為、決められた時間内で自身でカリキュラム内容を選択できるだけでなく、宿題やITカリキュラムを取り組む時間も自己選択、自己決定を行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	サービス担当者会議や関係機関の会議は管理者、児童発達支援管理責任者が参画しています。	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	協力医療機関の設定や関係機関との連携フローについて作成し、常に連携できる体制を整えている。	関係機関と連携をとる機会を増やし、迅速に対応できる体制をつくる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	学校から年間計画や行事等の配布物を保護者から受け取り、下校時刻を把握している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	児童発達支援事業所と連携を図っており、情報を共有し相互理解に努めている。	児童発達支援だけでなく、保育所や幼稚園等との連携を増やしていく必要がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、支援内容等の情報を提供している。	学校を卒業し福祉サービス事業所等へ移行する場合は必要に応じて、支援内容などの情報共有を行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4	地域の児童発達支援センターとの連携は図ることができていないが、事業所内での研修を受ける機会を確保している。	研修など直接関わり合う機会が少ない為、機会を増やしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	地域のイベント（スポーツや祭り）に参加している。児童館の職員と柔軟にコミュニケーションを図っている。	放課後児童クラブや児童館との交流の必要性について会議を行い、必要に応じて交流できる機会の検討を行う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	兵庫区の自立支援協議会、子ども支援子育てネットワークに参加。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	毎日ミーティングで発達の状況や課題について話し合いを行っております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4	送迎時や電話連絡の際に、会話での説明を行っている。	ペアレント・トレーニングをはじめとして、ご家庭でも活用できるような情報提供の機会を検討する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	見学体験や契約時に支援プログラム、運営規程や利用者負担額の説明を行っている。	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	毎日のミーティングでも子どもや保護者のご意見を尊重した支援ができる話し合いをしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	個別支援計画書の説明を示しながら支援内容を説明し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	定期的な面談の他、送迎の際やお迎えの際に情報共有やご相談に応じています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4	現状、父母の会や保護者会については実施していないが、常に検討を行っている。	保護者同士のコミュニティが作れる場を設けてほしい等のご相談があった際には実施できるように努める。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情窓口を通して、保護者の方からのご意見をいただき、迅速に改善策を講じている。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	定期的に、Instagramやホームページを更新し活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報が記載された書類は鍵付きの棚に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	子どもの特性を把握し、保護者様との情報共有を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	事業所主催の行事は実施していないが、地域のイベントに積極的に参画している。	地域住民を招待しての事業運営が出来ていない為、その機会を作っていきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、定期的に研修を行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	非常災害用、感染症対策用の2種類の業務継続計画（BCP）を作成し、定期的な研修・訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	見学体験時に確認している。当日の児童の様子を確認し、保護者と職員間で共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	アレルギーのあるこどものリストを作成し、食事をする際やおやつを買う際に必ずスタッフや事前に保護者様からの同意をいただいています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	感染症対応マニュアルに沿った研修以外にも、嘔吐処理の研修や次亜塩素酸水の作り方など定期的に研修、訓練を行っています。	有事の際のシミュレーション等、十分でないと感じる点もあるため、法定の訓練回数にとらわれず、必要に応じて研修・訓練を行う。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	緊急避難先等の情報共有を行い、避難訓練等の自衛消防訓練を行った際は、保護者の方へ周知している。	緊急時の避難方法について、状況別で分ける等詳細の取り決めを行い、周知する必要があると感じている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	過去の事例の状況を再周知し、再発防止に努めている。	引き続き、終礼での共有を行う。その都度、迅速に改善を図る。その後、似たような事例が続く場合には再検討を行う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止研修および虐待防止委員会を定期的に開催し、必要な知識の習得や情報共有に努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	身体拘束適正化について、研修および委員会を設置し、共通認識を図っている。		